

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

ブックスタート推進事業 72万円
(担当：栗原市立図書館)

3～4ヶ月児健診の際に、絵本を開く楽しい体験とメッセージを伝えて絵本を贈り、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれ合うひとときを持つ、きっかけを作ります。

児童虐待防止対策事業 375万円
(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、地域協議会の開催や、関係機関の連携、相談等の対策を講じます。

また、児童虐待防止に関する専門的な研修を実施し要保護家庭を支援するスタッフの資質の向上を図ります。

放課後児童クラブ等運営事業 6,395万円
(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施します。



遊びや宿題などをしてみんなと楽しく過ごします

財源	県の負担額	1,413万円
	利用者の負担額	1,605万円
	市の負担額	3,377万円

地域子育て支援センター運営事業 1,606万円
(担当：子育て支援課保育サービス係)

地域全体で子育てしやすい環境を推進するため、育児不安を抱える母親の相談や子育てサークル等の育成支援を行うセンターを市内10地区で行います。

財源	国の負担額	250万円
	市の負担額	1,356万円



活動を通じて育児に関する情報提供や相談などを行っています

すこやか子育て支援金支給事業 2,500万円
(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)



子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給します。

・ 出生祝金	第1・2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円

・ 入学祝金	第3子以降	10万円
--------	-------	------

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

子ども医療費助成事業 8,918万円
(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育て家庭における経済的軽減を図ることを目的に、小学生・中学生の入院通院に係る医療費の一部を助成します。



特定不妊治療費助成事業 150万円
(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

高額な治療費がかかる体外受精などの特定不妊治療を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、その費用の一部を助成します。

母子保健健康診査事業

6,618万円

(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦一般健康診査は今年度も引き続き14回の助成を行います。

3歳児健診での、むし歯0本をめざし、1歳6か月児から3歳児までに歯科健診とフッ素塗布を4回行います。

乳幼児健診は2か月児から3歳児までのお子さんの疾病の有無や、成長発達の確認、育児の相談を医師、歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理相談員が行います。

一時保育事業

1,103万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等のため、市内10か所の保育所において、一時的(緊急的)にお子さんを預かる事業を実施します。

財源	国の負担額	366万円
	利用者の負担額	583万円
	市の負担額	154万円

財源	国の負担額	1,470万円
	市の負担額	5,148万円



妊娠期からの家族ぐるみの健康づくりを支援します

 **妊婦歯科健康診査事業**

91万円

(担当：健康推進課保健指導係)

今年度から、新たな取り組みとして、妊婦と生まれてくる子の歯の健康づくりのため妊婦歯科健康診査を行います。妊娠期におけるむし歯及び歯周病の予防及び早期発見・早期治療により妊婦の健康増進と、乳幼児に対する早期からのむし歯予防の意識づけを図ります。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

新—新規事業、**拡**—拡充事業 (事業名の頭に標記)

消費生活相談事業 652万円

(担当：産業戦略課商工振興係)
契約や電話勧誘販売など消費生活での困りごとに関して、専門知識と経験のある消費生活相談員を配置して相談に応じます。

財源 県の負担額 650万円

[相談窓口]

月曜日～金曜日 9時～16時まで

(祝日・年末年始除く)

専用電話 0228-22-1501

[相談場所]

築館農村環境改善センター 1階事務室
(市役所本庁舎隣、ふるさとセンター)

健康診査事業 2億50万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行います。

また、がん検診事業として、対象年齢の方に無料クーポン券を配布します。

また、肺がんの早期発見・早期治療のために肺がんCT検診を実施します。

財源	国の負担額	694万円
	県の負担額	247万円
	利用者の負担額	1,732万円
	後期高齢者医療広域連合の負担額	1,291万円
	市の負担額	1億6,086万円



健康管理のための検診は忘れずに

いのちを守る緊急総合対策事業

1億310万円

(担当：社会福祉課社会福祉係
・健康推進課保健指導係)

自殺防止キャンペーンや自殺防止講演会、多重債務電話相談、栗原市のぞみローンによる資金融資などで自殺防止対策に取り組んでおります。

自殺者数は、徐々に減少しているものの、増加と減少を繰り返している状況です。

今年度は、新たに小中学生等を対象とした金融教育の普及啓発事業を実施します。



講演会など自殺防止のための普及啓発事業を実施します

財源	国の負担額	250万円
	市の負担額	1億60万円

予防接種事業 1億7,017万円

(担当：健康推進課健康推進係)

感染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するために予防接種事業を行います。

また、高齢者のインフルエンザ予防接種の個人負担の軽減を行います。

BCG、ポリオ、三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)、麻しん及び風しん混合、日本脳炎、高齢者インフルエンザ、水痘ワクチン、流行性耳下腺炎ワクチン、子宮頸がんワクチンの予防接種など

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域活動支援センター運営事業

2,751万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者等に創作活動や生産活動の機会を提供するほか、社会との交流促進を図ります。

財源	国・県の負担額	181万円
	市の負担額	2,570万円



地域活動支援センター利用者による「よさこい」の披露

日常生活用具給付等事業 1,546万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付、または貸与を行います。

財源	国・県の負担額	1,159万円
	市の負担額	387万円

移動支援事業 1,105万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行います。

財源	国・県の負担額	694万円
	市の負担額	411万円

相談支援事業 1,980万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

訪問入浴サービス事業 604万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行います。

財源	国・県の負担額	453万円
	市の負担額	151万円

自動車運転免許取得費・改造費助成事業

134万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者が自動車運転免許を取得したり、自動車を改造する費用の一部を助成します。

自動車運転免許取得費助成については、交付対象者に精神保健福祉手帳の交付を受けている者に加え、補助金の限度額を20万円とします。

自動車改造費助成については、補助金の限度額を18万円とします。

日中一時支援事業 369万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行います。

財源	国・県の負担額	276万円
	市の負担額	93万円

財源	国・県の負担額	100万円
	市の負担額	34万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

高齢者福祉タクシー利用助成事業 490万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院のためのタクシー利用の際の料金の一部を助成します。

「食」の自立支援事業 856万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、宅配による給食サービスを行います。

財源	利用者の負担額	327万円
	市の負担額	529万円

軽度生活援助事業 818万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行います。(家事援助)

財源	利用者の負担額	74万円
	市の負担額	744万円

救急安心キット事業 202万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、主治医や病歴を記載した用紙を保管するキットを配布し、万一の救急の際に救急隊員が迅速な対応をとれるようにします。



配布するキットのイメージ

生きがい活動支援通所事業 2,927万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所によるサービス（ミニデイサービス）の提供を行います。

財源	利用者の負担額	970万円
	市の負担額	1,957万円



生きがい活動支援通所事業の様子

高齢者日常生活支援業務利用助成事業

150万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活の支援に係る経費の一部を助成するため、日常生活支援業務助成券（シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限り使用できる）を交付します。(生活援助)

緊急通報体制等整備事業 448万円

(担当：社会福祉課社会福祉係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行います。

財源	利用者の負担額	105万円
	市の負担額	343万円

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます

= 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

栗原ブランドの確立・支援事業

1,035万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

市が定める独自の基準を満たした食品を「栗原ブランド」として認定する制度を継続するとともに、インターネット等を活用した「独自の直売ルートの開拓」や、各分野の事業者が連携した「新たな商品開発」を支援し、栗原の魅力と併せて商品を全国へ発信することで、地域ブランドの確立を図ります。



農地集積支援事業

800万円

(担当：農林振興課農政係)

安定した土地利用の確保を図り、担い手の経営規模拡大を図るため、農地集積の誘導助成を行います。

ペレットストーブ購入事業 110万円

(担当：農林振興課林業振興係)

森林資源の有効活用と二酸化炭素削減の啓発を図るため、公共施設にペレットストーブを設置します。



みちのく伝創館(栗駒)に設置したペレットストーブ

くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

907万円

(担当：畜産園芸課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりの強化を目的として、市内で生産された優秀な繁殖素牛と肥育素牛をみやぎ総合家畜市場から導入または、自家保留した場合に畜産農家に対し支援を行います。

また、産肉能力の高い茂洋の場合には、さらに加算して助成します。



宮城県基幹種雄牛「茂洋」
しげひろ

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

新 = 新規事業、**拡** = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

拡 第2大林農工団地整備事業	4, 205万円
新 三峰工業団地整備事業	6, 736万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

安定的な雇用の場を確保し、産業拠点の形成を図るため、工業団地の整備に取り組みます。



第2大林農工団地整備予定地 (若柳)



三峰工業団地整備予定地 (築館)

企業立地促進奨励金 1, 288万円

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じ固定資産税相当額を3年間助成します。

新 **企業立地投資奨励金** 1, 000万円

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じ、投資額の10～20%を助成します。

雇用促進奨励金 500万円

市内に住所を有する者を3人以上新たに常時雇用した市内企業に対し、その雇用者数に応じて助成します。

(担当：産業戦略課企業戦略係)

雇用拡大奨励金 2, 200万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

新規学卒者等(市内に住所を有する高等学校卒業後3年以内までの者)を新たに常時雇用した市内企業に対して、雇用者数に応じて助成します。



市内企業への就職をお手伝いします。
就職希望高校生と市内企業の出会場の「くりはらジョブ・フェア2011-夏」の様子

新産業創出支援事業 500万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

新たな産業と雇用の創出に向けて、市内の企業が大学や研究機関などとの連携による新製品の研究・開発に対して助成します。

大学連携事業 826万円

(担当：企画課企画係)

気候変動がもたらす影響に対応するため、これまで市と慶應義塾大学は「※グリーン社会 ICT ライフインフラプロジェクト」として、エネルギー消費の最適化、インターネットを活用した健康相談や災害発生時の緊急通信システムなどの研究を行ってきました。今後はこれまで行ってきた研究を市民生活の向上につなげるよう、引き続きプロジェクトを進めていきます。

※グリーン ICT ライフインフラ プロジェクトとは、人と人とを繋ぐ情報通信技術 (ICT) を活用し、環境に優しい (グリーン) 生活基盤 (ライフインフラ) を目指すプロジェクトです。

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(3) 地域資源を活かした交流人口の増加を図り栗原市を発信します

=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

広域観光戦略推進事業 131万円

(担当：田園観光課観光企画係)

豊かな自然資源、動植物、温泉、独特の文化等多彩な観光資源を有する栗駒山麓をめぐる、秋田県湯沢市、栗原市、岩手県一関市、秋田県東成瀬村による観光振興について、県域を越えて広域的に連携し、地域の活性化などに取り組みます。



広域的な観光PRなどを共同で実施する3市1村による「ゆっくりひとめぐり栗駒山麓連絡会議」の協定締結式

国際交流フェア事業 100万円

(担当：市民協働課地域振興係)

現在、高校生を対象に実施している青少年海外派遣事業の派遣先であるスウェーデンとの交流や市国際交流協会の活動を紹介しながら、異なる文化や伝統を知り交流を深めることを目的として開催します。

栗駒山麓崩落地・景観活用事業

1,487万円

(担当：田園観光課観光企画係)

平成20年岩手・宮城内陸地震により、崩落や地すべりなどの被災した栗駒山麓の地形・景観の保存のあり方や、今後の震災対策、災害教育及び学術研究など、多目的分野での活用によって、地域の活性化などに取り組みます。

観光施設整備事業 6,273万円

(担当：田園観光課観光振興係)

栗駒山麓の観光拠点であるハイルザーム栗駒、栗駒コテージなど市内観光施設の整備を行います。



栗駒山麓の観光拠点ハイルザーム栗駒



荒砥沢ダム崩落地の現地視察

チャレンジショップキーパー支援事業

500万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

商店街の活性化に向けて、空き店舗を活用し出店する事業者に対して、賃借料や店舗改装費の一部を助成します。